

平成 23 年 3 月 11 日（金） 13:30～14:46

ホテルフロラシオン青山「クレール」

（審議事項）

1. 平成 23 年度計画案について

杉浦総務課長より、資料に基づき以下のとおり説明があった。

平成 23 年度計画のポイントとして、次の①専攻・研究科横断型の教育研究活動の推進、②個々の学生の実情に応じた教育の実施に向けた検討、③教育問題検討委員会の設置による教育研究、学生支援等の検討、④学術交流ネットワークの構築に向けて、IT 基盤としてのサイト構築、メンバーシップの把握等を挙げた。

また、高畑議長より、広い視野の養成、学生教育におけるテラーメイド、学術交流ネットワーク等における共通プラットフォームの計画等について補足があり、今後、役員会を経て正式に法人の年度計画として平成 23 年 3 月中に文部科学大臣に届出することも併せて審議の結果、原案どおり承認された。

2. 諸規則の改廃について

杉浦総務課長より、資料に基づき以下のとおり説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

・先導科学研究科生命体科学専攻の廃止関係

①募集停止をしていた生命体科学専攻は、2 月の教授会における学位審査の結果、学生が存在しなくなることから当該専攻を廃止すること。

②当該専攻の廃止に伴い教授会等を整理すること。

③その他、諸規則の廃止・削除等。

・高エネルギー加速器科学研究科及び生命科学科の講座の再編関係

①素粒子原子核専攻の実験系の講座を素粒子原子核実験講座に統合すること。

②基礎生物学専攻の講座名称の一部変更を含め改編すること及び数理予測生物学講座は教授の退職に伴い講座を廃止すること。

③統合・調節生理学講座を統合生理学講座に改編すること。

・教員の任期に関する規則の改正について

教員の任期に関する規則において、生命共生体科学専攻の理論生物学分野及び進化生物学分野を追加

・会議議事録の署名の廃止

法定会議である役員会、経営協議会、教育研究評議会では、国立大学一般において署名関連の条文が見当たらないこと、議事録の正当性は毎回の会議において確認していること等により、署名は廃止し簡素化すること。

3. 名誉教授について

各研究科長（大高評議員、有本評議員、齊藤評議員、澁谷評議員、広海評議員、高畑評議員（渡邊評議員代理））より、各研究科教授会における名誉教授の審議状況を含め、資料に基づき、各研究科 20 名の推薦説明があり、審議の結果、原案とおり承認された。

4. 次期経営協議会委員予定者について

高畑議長より、資料に基づき、国立大学法人総合研究大学院大学経営協議会規則第 1 号及び第 3 号委員の再任及び就任、第 4 号委員の就任について説明があり、審議の結果、原案とおり承認された。

(報告事項)

地震発生後避難命令が発令され、会議は閉会となったため、2～5については割愛となった。

1. 生命科学研究科の活動状況について
2. 平成 23 年度の運営体制について
3. 平成 23 年度教育研究予算について
4. 平成 24 年度概算要求について
5. 博士後期課程入学料免除の検討状況について